

チョーライ病院向け病院運営・ 管理能力向上支援プロジェクト

2019年12月

1. 病院管理に関する本邦研修

チーフアドバイザー 小原 博

2019年11月24日から12月1日の日程で、国立国際医療研究センター（NCGM、東京都新宿区）にて病院管理をテーマとしたカウンターパート訪日研修が実施されました。チョーライ病院管理部門（総合計画部、財務部、研修部、IT部、看護部）の部長5名が参加し、チーフアドバイザーが同行しました。

日本の病院における病院管理（電子カルテ・病院情報システムの概要、クリニカルパスの電子カルテ上での運用、人材育成、組織体制など）を学ぶことにより、チョーライ病院及びチョーライ日越友好病院における病院管理能力向上に役立てることが本研修の目的です。特に電子カルテに重点を置きました。

ベトナム保健省からの通達により、2023年までに一等レベル以上の病院（チョーライ病院は特等）に電子カルテを導入し、2030年までにすべての医療施設で導入を完了ことが定められました。チョーライ病院は通達に従って導入のコンセプト作りを始めようとしているところです。しかし、電子カルテについて理解している職員は少なく、電子カルテの概略を知ることは喫緊の課題となっています。

本研修はNCGMの実例と経験を豊富に取り入れた講義のほか、電子カルテ使用状況や管理状況の見学、病院外来や研修スキルラボの見学が行われました。参加者から多くの質問が出ました。

研修修了後の報告会・評価会では「研修内容はチョーライ病院のニーズに即していた。」「電子カルテ運用法について明確になった。」「研修マネジメントについて学んだ」など、参加者から満足度が高い意見が出ました。



電子カルテによるクリニカルパス運用に関する講義



病棟における電子カルテ運用の見学



閉講式

電子カルテを導入し適切に使用することは、プロジェクト目標である「質の高い医療サービスの提供」や病院管理能力強化につながります。また、本プロジェクトで開発中のクリニカルパスは電子カルテと組み合わせることにより、一層大きな効果を発揮します。今後、本研修で学んだことを参考に、チョーライ病院とチョーライ日越友好病院における電子カルテ導入計画を作成することを期待します。

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト

事務所: 10F, Block D, Cho Ray Hospital, 201B Nguyen Chi Thanh, District 5, Ho Chi Minh City, Viet Nam

Tel: 028 3620 5032（直通） E-mail: chorayjica@gmail.com

ホームページ: <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/044/>

2. カマウ省病院、バクリウ省ザーライ郡病院訪問

業務調整員 小菅 丈治

本プロジェクトでは、チョーライ病院の能力向上によって得られた医療の恩恵をベトナム南部に波及させることを重視しています。2018～2019年にチョーライ病院において、南部24省の医師・看護師らを招いてセミナーを3回実施しました(DOHAセミナー:テーマは医療安全、院内感染対策、患者安全搬送)。2019年11月19日～20日に、DOHA セミナーの評価を目的として、南部メコンデルタ地域にあるカマウ省総合病院とバクリウ省ザーライ郡病院を、小原チーフアドバイザーと小菅調整員、チョーライ病院のNguyen Minh Tuan透析部長、Nguyen Tran Duc看護師長で訪問しました。訪問先の病院では、その後の技術移転活動や有効性について、準備された資料に基づく報告を受けました。「研修の内容は有益であり、病院運営能力の向上に役立っている」との報告があり、プロジェクト活動のフォローアップにつながる有意義な意見交換を行うことができました。



(左) 訪問先医師、スタッフとのミーティングと意見交換。バクリウ省ザーライ郡病院ズン院長
(右) カマウ省総合病院におけるDOHA研修評価会。ドン医師による報告が行われた。

3. 久恒順三短期専門家による次世代シークエンサーの解析トレーニングの実施

院内感染対策/看護管理 黒須 一見

久恒(ひさつね)順三短期専門家(国立感染症研究所薬剤耐性研究センター)が11月17日～21日に来訪し、プロジェクト成果『2-4多剤耐性菌に対する遺伝子検査体制の整備』の一環としてトレーニングを実施しました。同専門家の派遣は2回目ですが、8月の訪日研修でも指導を受けており、チョーライ病院微生物科の医師および技師(3名)には3回目の指導となります。今回はこれまでの指導をもとに微生物科が実施した次世代遺伝子検査機器(iSeq[®] illumina社)から得た結果の解析に関する講義を行いました。次世代シークエンサーの使用によって、より適切な抗菌薬の選択や多剤耐性菌の拡がりの確認が可能となり、一歩踏み込んだ対策が可能になることが期待されます。



シークエンサー結果の解析についての講義

4. 黒須長期専門家の帰任

院内感染対策/看護管理 黒須一見

このたび12月30日に2年9ヶ月の任期を終え、帰任することとなりました。2017年4月1日に気温7℃の東京を発ち、38℃のホーチミン市へ到着したのが昨日のように感じます。私にとって初めての長期海外赴任で不安も多かったのですが、チョーライ病院の皆様の暖かい対応ですぐに馴染むことができました。私は主に院内感染管理が担当でしたが、感染制御部をはじめ、職員の皆様の努力により、約3年間で感染率は減少し、病院内の環境も改善されました。感染管理の良いところは成果が形となって見えることです。日々の業務と並行するのは大変ですが、対策を継続して良い環境作りを目指しましょう。また、お会いしましょう！ Cảm ơn nhiều !

